

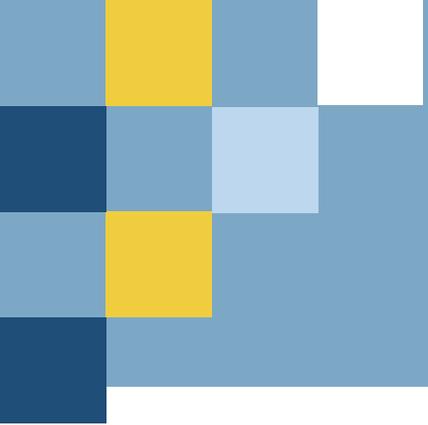
台湾高等教育の 現状と課題

楊 思偉

広島大学高等教育研究開発センター

2024年7月15日

swyangntcu@gmail.com



目録

- 1.台湾政治社会面
- 2.高等教育の制度と現状
- 3.高等教育の重要政策
- 4.台湾と日本の政策比較からの視点
- 5.台湾高等教育の課題

1 台湾の基本状況と地図(1/2)

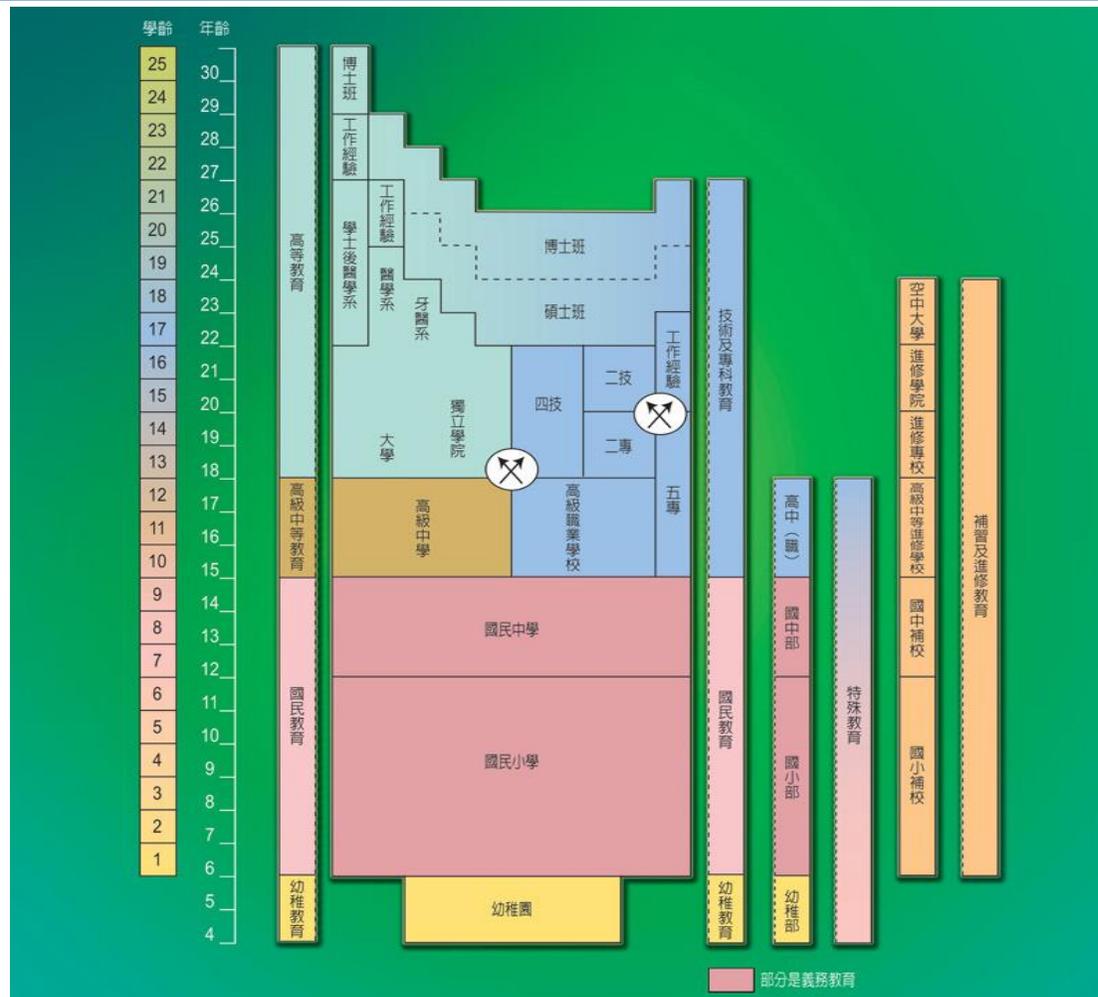
- 1.土地面積：36,197.067平方キロメートル。
- 2.人口：2,342万442人（2023年時点）。
- 3.民族：漢人（96.4%）、原住民族（2.5%）、登録移民人口（1.1%）。
- 4.言語：中国語、閩南語、客家語、原住民族語など。
- 5.行政区：6つの直轄市、16の県市。
- 6.教育制度：6-3-3-4制。
- 7.学年度開始：8月。



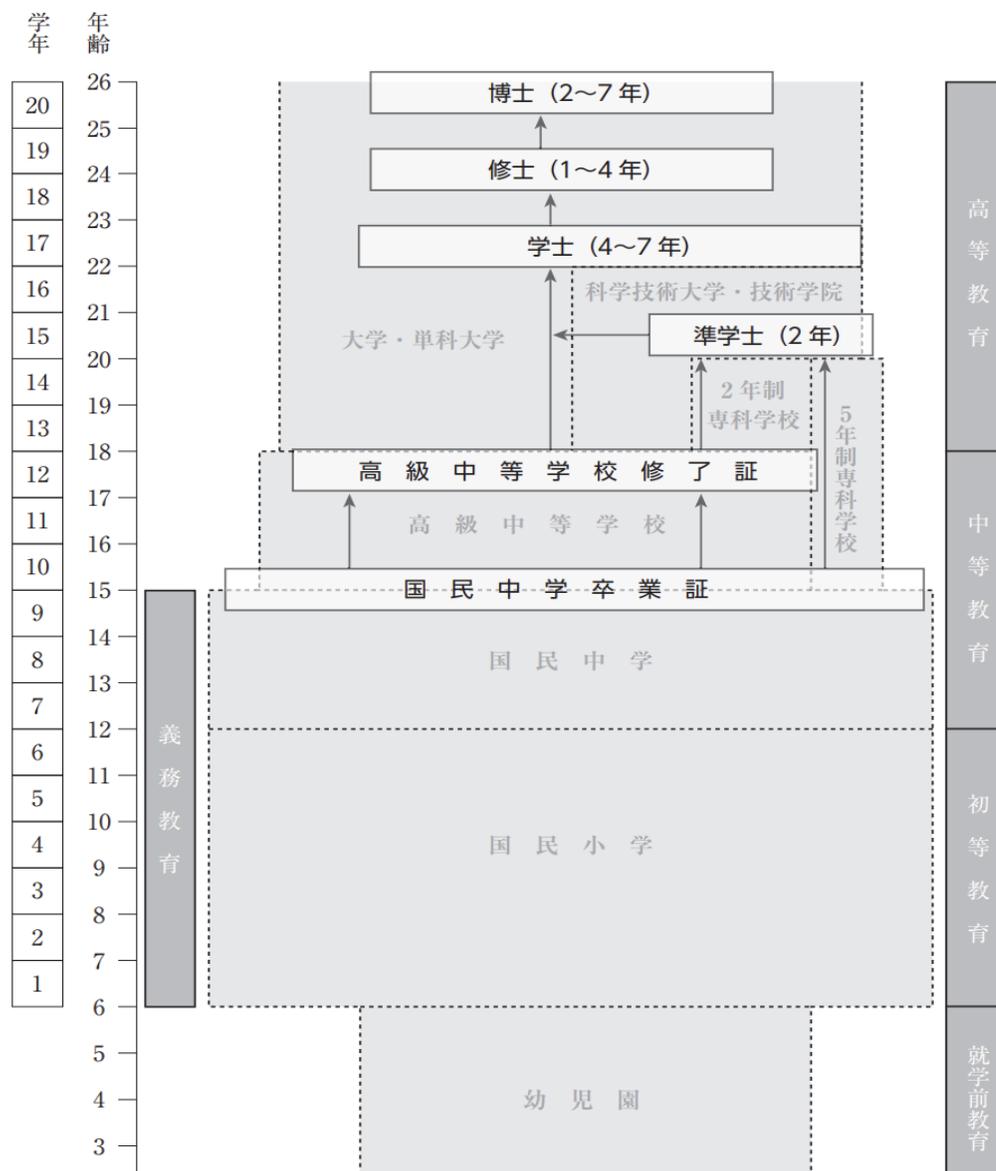
1 台湾の基本的な背景(2/2)

- 1.中国との政治問題が特別で、さておく。
- 2.国内の政治状況も複雑。
- 3.世界の最大半導体製造会社がある。
- 4.一人当たりのGDP = GDP ÷ 人口 2022年32,643.22 USドル (32位) 日本33,821.93 USドル (30位)。
- 5.多元化社会--新規居住者(父親か母親)の子どもの出身国(地域)を比較したところ、中国本土が43.9%、ベトナムが35.5%、インドネシアが9.1%、フィリピンが2.2%、タイ、カンボジア、マレーシア、ミャンマーなどが2%未満であった。台湾の新規居住者の子供の総数は、2021年度で7.3%を占めています。
- 6.少子化 (同一年齢層約20万人) と高齢化社会。

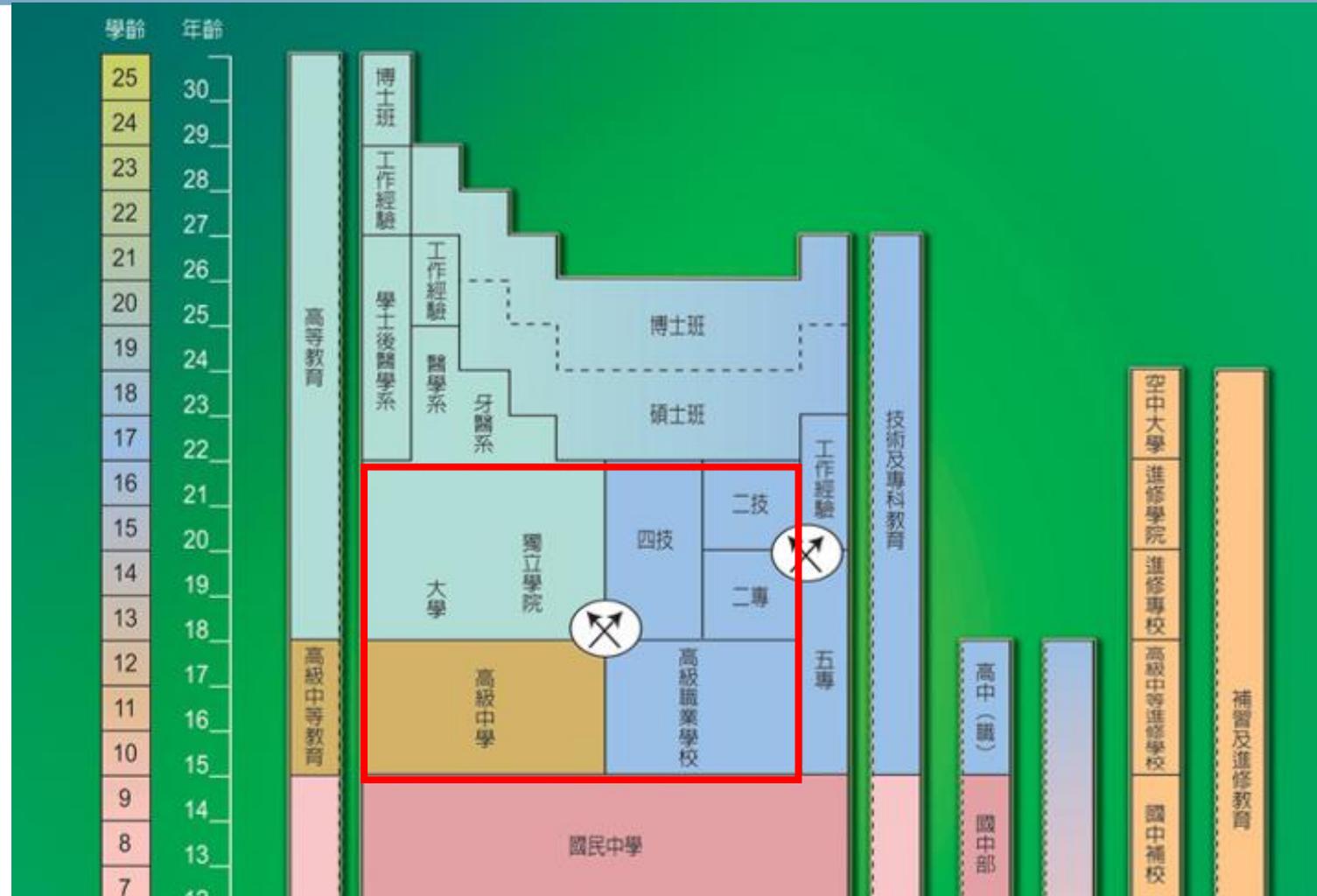
2-1 台湾の教育制度 (1/3)



VI 取得可能な資格・学位

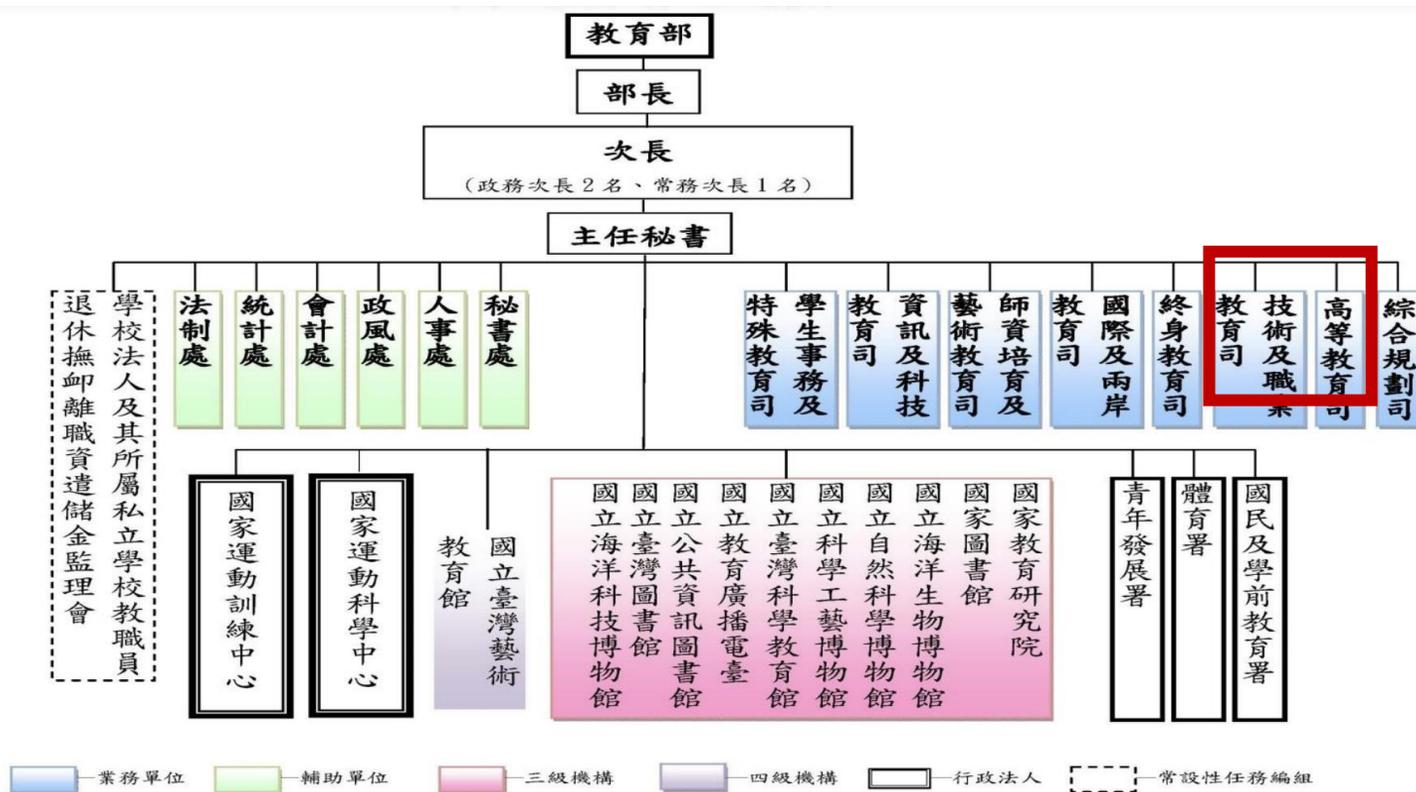


2-3 台湾の教育制度 (3/3)



2-4 高等教育の行政

1. 教育部が教育行政（教育、スポーツ、青年発展）を主宰する機関、科学研究を国家科学と技術委員会に管轄される。
2. 組織の中に高等教育司（普通大学を管理）と技術及職業教育司（科技大学、技術学院、専科学校を管理）



2-5 高校と進学率(1/4)

- 義務教育が9年間、高級中等学校は、普通教育を行う普通型、職業・専門教育を行う技術型、普通教育と職業教育の両方を行う総合型、特定の分野に関する教育を行う単科型の4種類に分けられる。
- 後期中等教育が無償化と無試験入学に相当する
- 技術高校生： 科技大学、技術学院、専科、二専に進学
- 普通高校生： 普通大学、独立学院に進学
- 2022学年度卒業生の進学率： 続学14.9万人（87%）、普通科8.4万人（進学率96.7%）、専門群科5.3万人（82.6%）、総合高校、実用技能コース、進修部合計1.2万人（8.0%）。
- 2020年後期中等教育在学率： 台湾94.4%；日本98.0%。
- 高校高校卒業生は、ほとんど進学するが、大学の定員数が卒業生数を上回ったので、ランキングの下の私立大学(普通と科技大学)の定員が割れる。

2-5 高等教育の概要(2/4)

1. 普通高校と職業高校の分岐型で、分流学習
2. 普通高校と職業高校が分流進学、普通高校生は普通大学への進学が殆どだ
3. 1996年の大学設立緩和政策により、大学数が増加
4. 2010年以降、少子化の問題が深刻化し、私立学校が徐々に退場
5. 高等教育機関は普通大学、宗教学院、科技大学、技術学院、専科学校に分類
6. 高等教育機関には日間部と夜間部のクラスがある
7. 学位は準学士、学士、修士、博士に分かれる
8. 修士課程は一般クラスと在職者クラスに分かれる

2-5 普通大学と技職大学の統計(3/4)

2023学年度の高等教育機関は「技職大学」が「普通大学」より若干多い。(「技職大学」：科技大学、技術学院、五年制専科学校等) 合計145校。

	学校数	百分比(%)
普通大学	67	46.21
技職大学	78	53.79
合計	145	100.0

2-5 公、私立大学の統計(4/4)

2023 年度には、高等教育機関の数は「公立」よりも「私立」の方が多くなります。

単位：所

學年	總計			大學			學院			專科		
	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立
107	153	48	105	127	45	82	14	1	13	12	2	10
108	152	48	104	126	45	81	14	1	13	12	2	10
109	152	48	104	126	45	81	14	1	13	12	2	10
110	149	47	102	126	44	82	11	1	10	12	2	10
111	148	47	101	126	44	82	10	1	9	12	2	10
112	145	47	98	124	44	80	9	1	8	12	2	10
較 107 學 年增減數	-8	-1	-7	-3	-1	-2	-5	-	-5	-	-	-

2-6 公私立大学学生数割合

2023学年度の学生数は「私立大」が約58%。

	学生数	割合(%)
公立大学	459,407人	41.96
私立大学	635,422人	58.04
合計	1,094,829人	100.0

3 重要な政策

1. 大学進学アクセスの多様化
2. 少子化問題と定員割れの管制
3. 大学の退場（廃校）と統合
4. 高等教育エクセレンスー高等教育深耕計画
5. 教授退職金制度がかわり、研究人材育成も変わる。

3-1 大学進学アクセスの多様化 (1/4)

	繁星推薦 (15%)	申請入学(50%)	分発入学(30%)	特殊選抜(>5%)
目的	地域バランスと都市・農村間の学習機会を強調し、近隣の高校への入学を推進	適材適所を強調し、学習履歴、多様な活動成果を参照して選抜	シンプルで統一的な入学方式を強調し、入学試験成績のみで選抜	特別な才能、経験、実績を持つ学生を募集し、弱者および大学所在地域の学生に配慮
成績採計	在校成績 (総合学習成績) + 学科能力測定成績	学科能力測定成績 + 選抜 (総合学習成績)	分科試験成績	資料審査 (総合学習成績) + 口頭試験
特徴	各高校は同一大学の同一学群に最大2名の学生を推薦可能	学生は最大6つの学科に申請可能	-	-

注：その他の入学経路としては、大学単独入学、高等専門学校統一入学試験、本土及び外国大学への出願（学力試験の成績による）等があります。

3-1 大学入学試験 (2/4)

大学入学試験の複数化

大学入学試験の点数

1. 試験科目：中国語、英語、数学AB、社会、自然。
2. 2.5科目テスト（自由に選ぶ、最大4科目まで参照）。
3. 3. 各科目の配点は15点です。
4. 4. 試験: 3日間。

学科能力試験(科目適性検査(X))
学科が定めた必修科目を試験範囲として、基礎的なコアコンピテンシーを評価します。

分科試験(Y)
必須科目と強化選択科目をテスト領域として、主要な科目の能力を評価します。

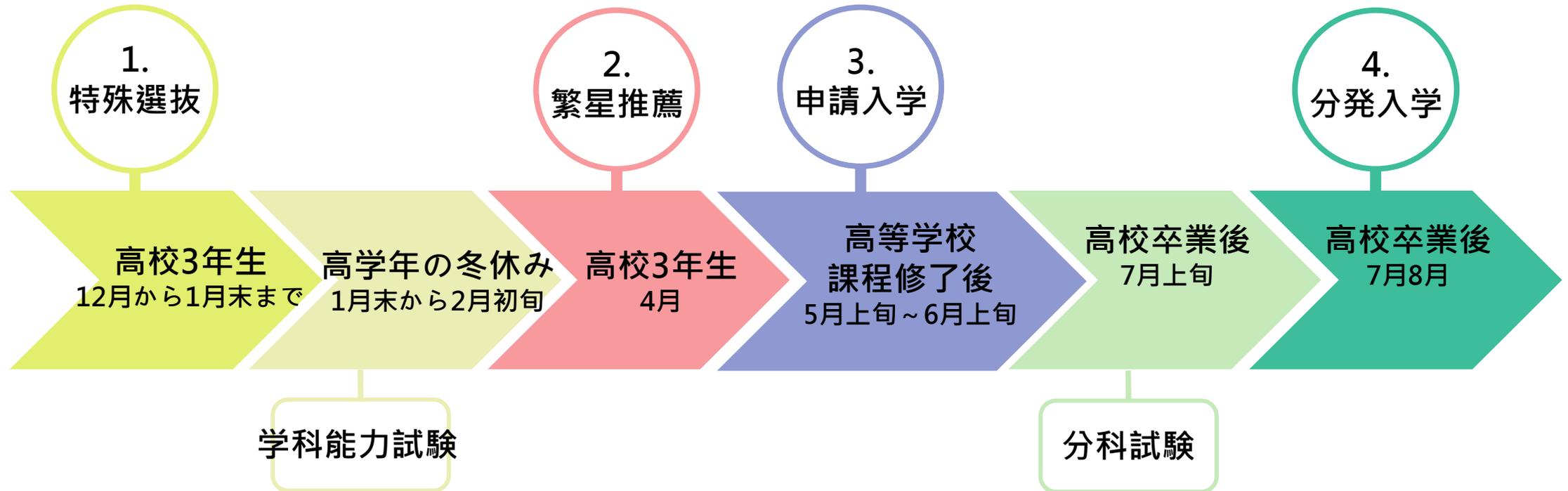
実技(技術科目試験)
音楽/アート/スポーツの専門知識を評価する

総合的な学習成 (P)

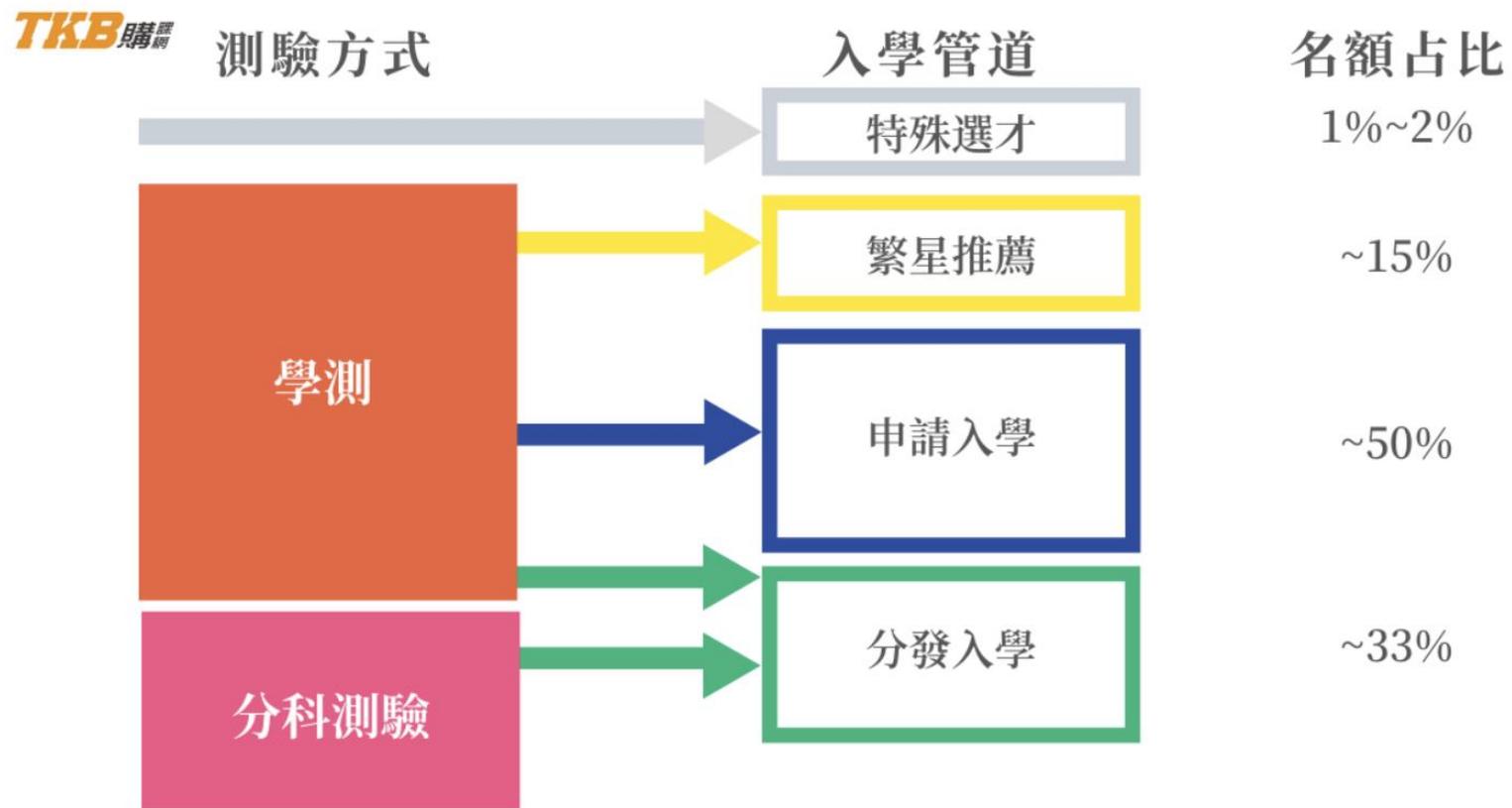
学生学習のポートフォリオ (P1)
学生の基本情報、コース記録、コースの学習成果、多様なパフォーマンス、学習プロセスの自己申告、およびその他の学習プロセスに関連する情報。

学部独自の審査事業 (P2)
面接、筆記試験、実技など。

3-1 大学入学方法 (3/4)

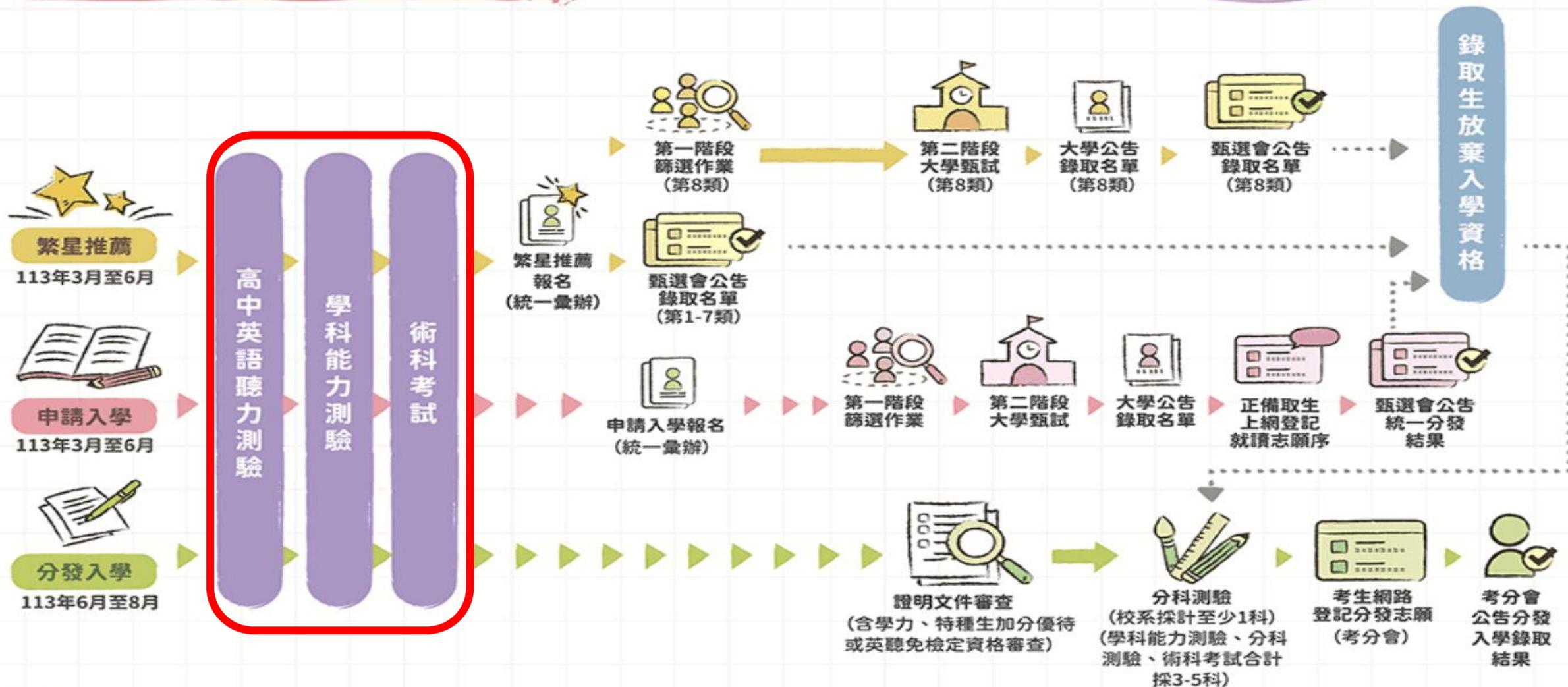


3-1 大學入學經路 (4/4)



入學方案架構圖

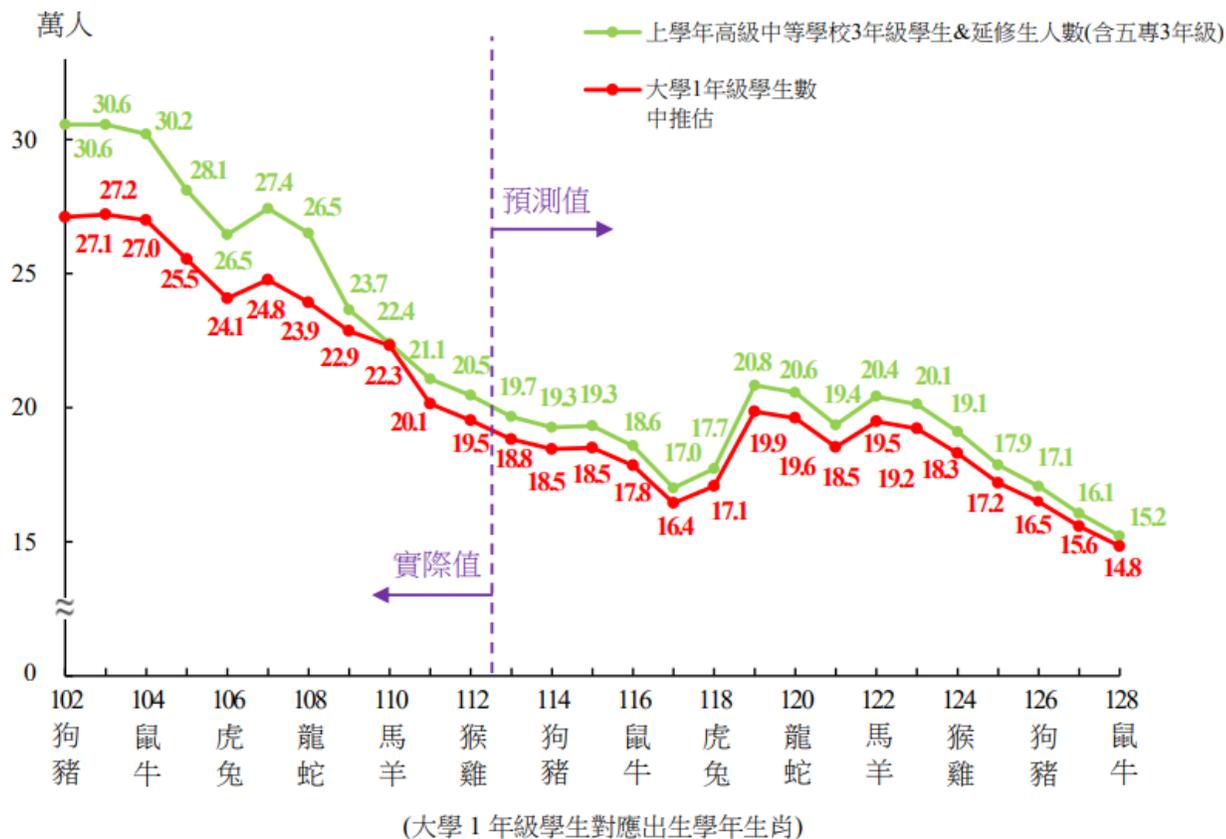
二、大學多元入學管道方案架構圖



3-2 大学1年生の減少予測(1/2)

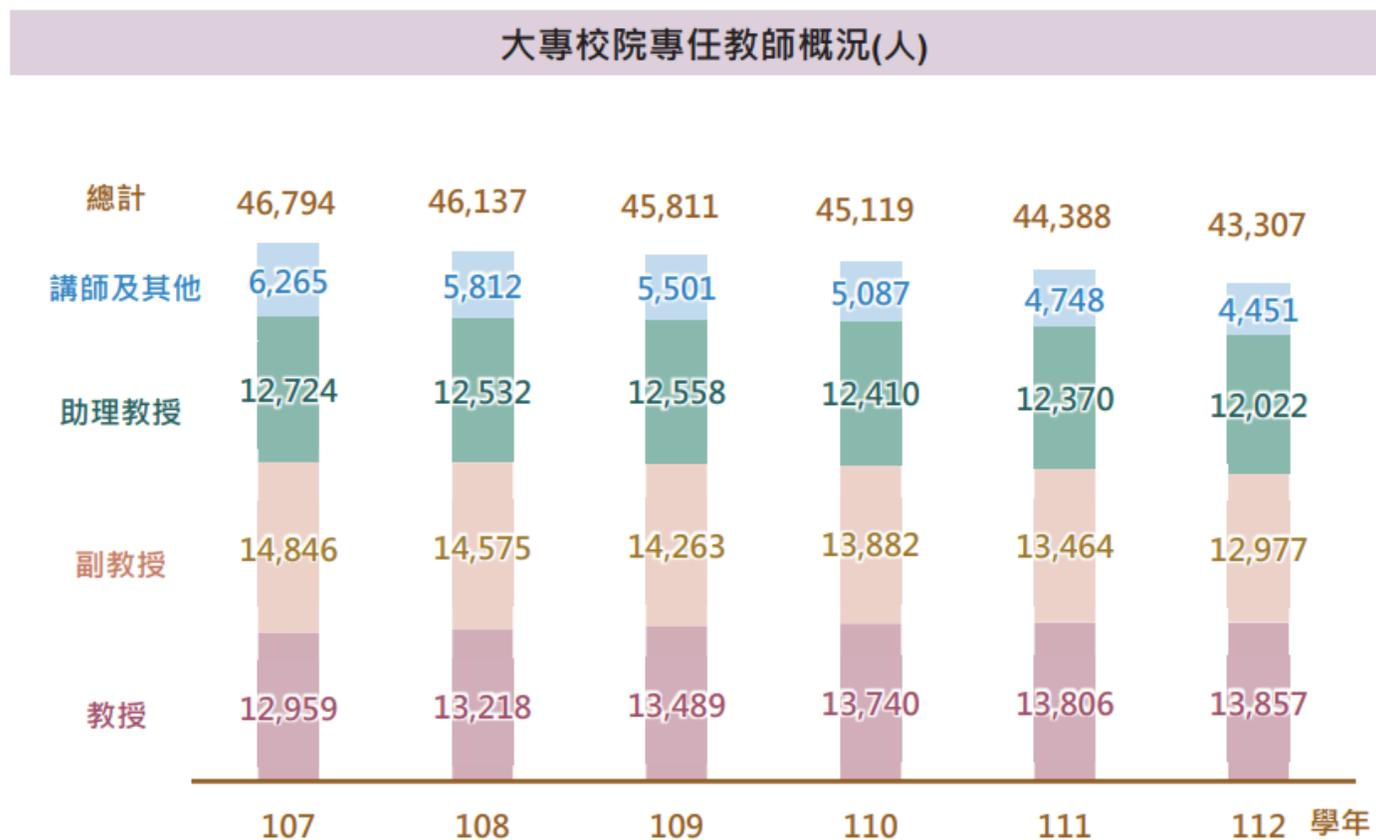
- ◆ 2024学年度以降（2024年8月から）、大学1年生の数は19万人を下回る見込み。
- ◆ 今後16年間（2024年8月～2040年7月）で、大学1年生の数は年間平均2万9千人減少する見込み。

圖 7 大專校院大學 1 年級學生數變化趨勢



3-2 教授退職金制度がかわり、研究人材育成も変わる 大学専任教師の減少(2/2)

- ◆ 教授退職金制度がかわり、研究人材育成も変わる
- ◆ 高等教育機関は少子化に備えて専任教師の数を管制しており、専任教師は年々減少。
- ◆ 博士学位を持つ教師は増加（2023学年度では8割以上）。

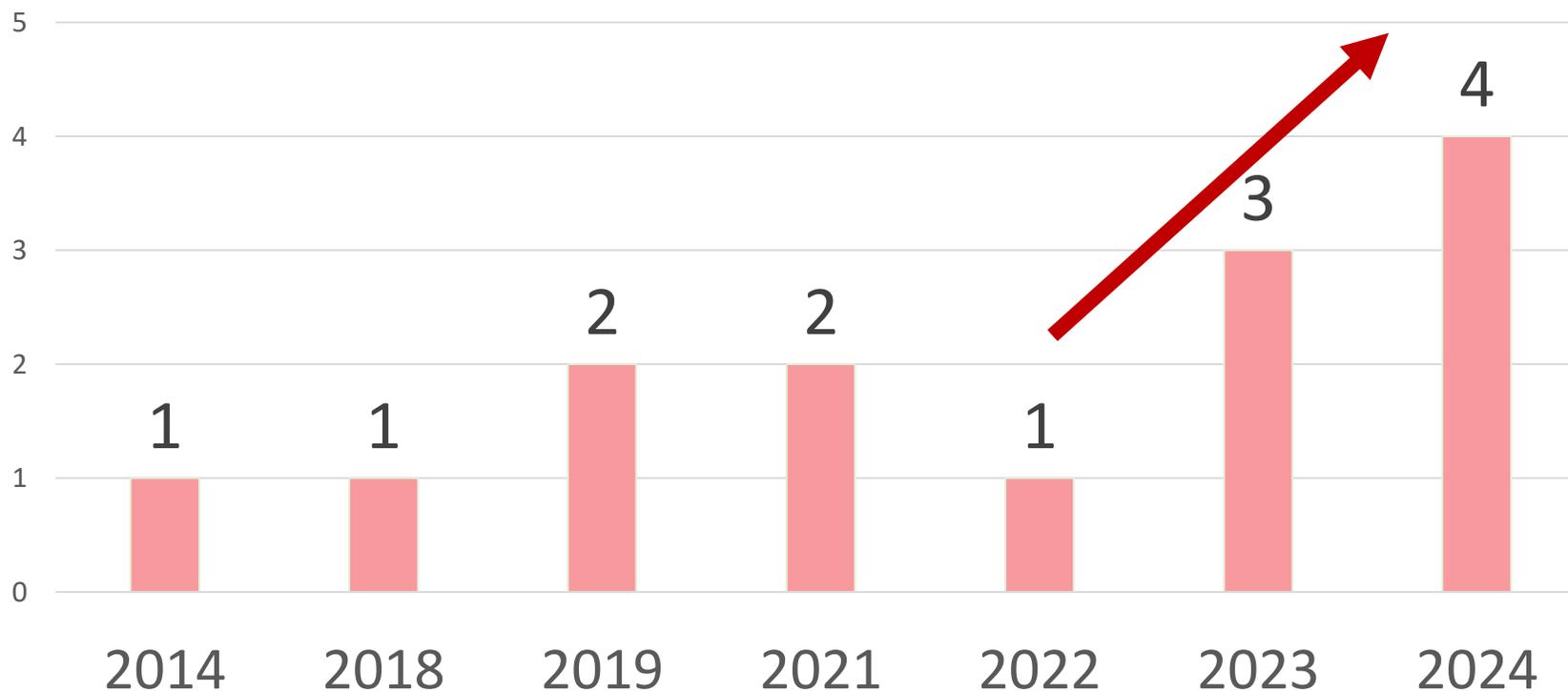


3-3 私立大学の退場を管制する(1/4)

- 1.法規：私立高級中等以上学校退場条例(2022年)。
- 2.評価基準：大学の教育品質、募集状況、財務状況などを評価し、改善不可能な大学を警告校や特別支援校として分類。
- 3.退場審議会を設け、警告校を認定し、学生募集を停止するのと廃校するのを決めること。
- 4.退場基金：教育部は「私立高級中等以上学校退場基金」を設置し、停学大学の学生の権益を守るための費用を補助。
- 5.基金の使用状況：2017年に25億元（台湾円）を投入し、2024年時点で約14億8639万元が残っている。

3-3 大学の退場と合併(2/4)

過去10年間で合計**14**の大学が退場した



3-4 大学の統合(3/4)

- ◆ 2012年に「国立大学合併推進方法」が成立し。
- ◆ 合併の種類：新規合併（新校名）、既存合併（他の学校を選択して存続）

2012年より15の大学が統合

年代	學校（7所）	整併學校（15所）
2013	臺北市立大學	臺北市立體育學院、臺北市立教育大學
2014	國立屏東大學	國立屏東商業技術學院、國立屏東教育大學
	法鼓文理學院	法鼓佛教學院、法鼓人文社會學院（原籌備中）
2015	康寧大學	康寧大學、康寧醫護暨管理專科學校
2016	國立清華大學	國立清華大學、國立新竹教育大學
2018	國立高雄科技大學	國立高雄第一科技大學、國立高雄海洋科技大學、國立高雄應用科技大學
2021	國立陽明交通大學	國立陽明大學、國立交通大學

3-4 大学の統合(4/4)

◆ 進行中の合併事件

年代	学校	整併学校
2024	慈濟大學	慈濟大學、慈濟科技大學

◆ 合併が議論中: さらに 11 の大学が合併について議論中です。

3-5 近年の世界大学ランキング

排名	TIMES(2024)		QS(2024)		ARWU(2023)	
1	国立台湾大学	152	国立台湾大学	69	私立中国医薬大学	201-300
2	私立中国医薬大学	301-350	国立陽明交通大学	217	国立台湾大学	201-300
3	私立アジア大学	401-500	国立成功大学	228	国立成功大学	301-400
4	国立台湾科技大学	401-500	国立清華大学	233	国立清華大学	401-500
5	国立清華大学	401-500	国立台湾科技大学	387	国立陽明交通大学	401-500

THE(2024). *World University Rankings 2024*. <https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2024/world-ranking>.

QS TOP University(2024). *QS World University Rankings 2024: Top global universities*. <https://www.topuniversities.com/world-university-rankings/2024>.

Shanghai Ranking(2023). *2023 Academic Ranking of World Universities*. <https://www.shanghairanking.com/rankings/arwu/2023>.

3-6 高等教育深耕計画と主軸(1/8)

- ◆ 高等教育深耕計画は、第1期（2018年～2022年）、第2期（2023年～2027年）の5年間で、総経費970億台湾ドル。
- ◆ 台湾最大の高等教育に対する競争的補助金プログラム。2024年の資金は185億6,000万台湾ドルです。
- ◆ ビジョン:大学の多様な特色を発展させ、新しい時代の優れた人材を育成する。
- 三つの目標
- ◆ 未来に向けて:学生のクロスドメイン(跨領域)統合能力を育成し、革新的な教育モデルを推進する。
- ◆ 地域との結びつき:大学の社会的責任を果たし、リソースを統合して地方の発展を促進する。
- ◆ 国際連携:大学の優位な分野をリードし、多様な国際競争力を展示する。

3-6 高等教育深耕計画と主軸(2/8)

●第一期計画（2018年から2022年）は、各大学がその位置付けに応じて多様な特色を開発することを支援することを目的として、「**教育革新の実現**」「**高等教育の公共性の向上**」「**社会責任の果たし方**」「**学校特色の発展**」などの4つの方向に分かれて推進されました。第一期計画は2022年末に完了し、進捗状況と資金の使用は完了しました。

●第二期計画（2023年から2027年）は、第一期の成果を継承し、「明確な位置付けと優れた特色を持つ大学の形成、将来の需要と国家の発展に対応する人材の育成」をビジョンとして掲げ、学校が「**教育革新の深化**」「**高等教育の公共性の向上**」「**社会責任の果たし方**」「**産学連携の強化**」の4つの方向を実現する支援を行います。

3-6 深耕計畫の具体的な内容(3/8)

高等教育 深耕計畫

PART 1

大学の総合的な質の向上
と高等教育の多角的な発展の推進

- マスタープラン：教育の革新と改善、高等教育の公共性の強化、社会的責任の遂行、産学連携
- 副プラン：国際化事務支援システム、情報セキュリティ強化
- 付録: 大学の社会的責任実践計画(USR)の実施
- 付録: 学生教育支援メカニズムを改善し、原住民学生リソースセンターを通じて原住民学生に指導を提供する

PART 2

大学が世界クラスの地位を追求し、研究センターを発展できるように支援する

- 全校プラン
- 特色領域研究センター計画

3-6 高等教育深耕計画(4/8)

PART 1 (マスタープラン)

大学の総合的な質の向上と高等教育の多角的な発展の推進

教育を革新と改善

STEM人材育成、学生のクロスドメイン(跨領域)統合能力を育成し、自主学習、革新的な教育モデルを推進する

高等教育の公共性を改善する

積極的かつ公平な教育の機会とリソースの提供に重点を置き、社会的流動性を促進するという教育の積極的な使命を实践するよう大学を指導する。

産学連携リンク

情報とデジタル、情報セキュリティの卓越性、台湾の精密医療、グリーン電力と再生可能エネルギー、国防と戦略、人々の生活と戦闘準備

社会的責任を果たします(USR)

学生が社会に参加する能力を育成し、キャンパスとコミュニティを専門的実践、道徳的投資、思いやりのある参加の場にし、学生の社会的責任感を強化し、市民意識を構築します。

PART 1 (副プラン)

国際化事務支援システム

1. 留学生への学習支援。
2. 留学生が卒業後も台湾に滞在して働くようアドバイスします。
3. 国際的な人材および管理リソース。
4. 外国人教職員の就労支援。

情報セキュリティの強化

1. 全校に情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) を導入しています。
2. 学校職員の情報セキュリティ意識とトレーニングを強化します。
3. 情報通信システムの管理能力を確保する。
4. 国家の情報セキュリティを危険にさらす製品の管理を実施します。

3-6 高等教育深耕計画(5/8)

付録(大学の社会的責任実践計画の実施)

1. 「地域のつながり」と「人材育成」を重視

人間を第一に考え、地域のニーズから出発し、人道的ケアと科学技術の導入を組み合わせ、地域の問題の解決に貢献し、社会的責任を果たすよう大学を指導する。

2. USRの精神を学校経営構造に統合し

「大学の社会的責任」を学校経営構造に統合し、地球規模の持続可能な開発問題を統合し、大学の影響力を高め、国際的な視野と流動性を備えた人材を育成することを引き続き奨励する。

付録1 (高等教育の公共性の充実)

学生教育支援メカニズムを改善し

- 経済的、文化的に恵まれない生徒が公立学校に入学する割合を増やす。
- 補助金の仕組みを通じて、学校は外部リソースを確立するよう指導されています。
- 仕事と勉強を勉強に置き換え、経済的に恵まれない学生が学業と生活上のニーズを同時に両立できるようにする個別指導の仕組み。

原住民学生リソースセンターを通じて原住民学生のカウンセリングを行う

- 原住民の学生が学校で学び生活するための文化支援システムを確立する
- 学校内のさまざまな部門間の分業と協力のメカニズムを強化する：個別指導機能を改善し、組織的位置付けを強化し、民族グループに優しい環境を作り出す。

3-6 高等教育深耕計画(6/8)

全校プラン

1. 学術イノベーションの研究開発

イノベーションメカニズムを開発し、コアチーム、分野および特性を確立し、産業上のつながりを強化し、主要な技術移転を実施し、国際機関との共同研究を深めます。

2. 人材育成と採用

博士の人材を着実に拡大し、奨学金と奨学金を提供し、博士課程の学生が海外で研究を行うための助成金を提供し、研究を深め、国際的な人材を誘致するためのチームによる国際研究室を設立します。

3. 国際競争の激化

二国間または多国間の国境を越えた協力を含む学校協力パートナーの多様化を促進し、学校が国際セミナーを主催し、国際社会とのつながりを強化し、教師と学生の国際的影響力と国際的視野を高め、海外との研究を支援することを奨励する。母校とコミュニケーション。

4. 社会的責任への貢献

国際協力を通じてSDGsの概念を実践し、持続可能な環境、健康、安全などの問題を学術研究に統合し、学術とともに社会に貢献し、国内社会に還元し、世界に貢献し、我が国と世界が困難に直面するのを支援します。グローバルチャレンジ(グランドチャレンジ)。

特色領域研究センター計画

1. 人材育成と採用

ハイレベルな研究開発人材を育成し、優秀な人材を研究者として採用できるよう研究所を指導します。

2. 学術研究実績

学術研究の量が増加することに加えて、学術研究の国際的な影響力の成長も強化されます。

3. 国際協力・交流

研究センターは、国際的に優秀な人材を交流のために台湾に招待し、センターメンバーを海外の学術研究機関に派遣して関連する学術研究や交流を行うことが奨励されており、同時に外国機関との共同研究を通じて国際的な認知度も高めている。

4. 社会的責任への貢献

産学連携による産業の発展を促進するとともに、センターによる社会的責任活動の推進や社会問題の解決を奨励する

3-6 高等教育深耕計画(7/8)

申請とPDCA

1. 高等教育深耕計画のために、質の高い書面およびプレゼンテーションの審査、現地評価などを行い、
2. 「高等教育深耕計画プラットフォームウェブサイト」を構築し、各大学の計画の実施状況と評価成果を把握する。
3. を5年計画にし、ただし、2年と3年に分けて審査する。
4. 教育部からの施策への検討が少ない。各大学の計画の実施状況と評価成果を各自にプラットフォームウェブサイトに発表する。
5. 国会で、実施状況と決算を審査した、また 国家発展委員会等が第三者評価として、審査結果が発表された。

3-6 USR計画に関して(8/8)

教育部は、「大学社会責任実践（University Social Responsibility, USR）計画」を推進しており、地域連携、人材育成、国際連携などの面や様々な問題に焦点を当てています。この計画により、大学が社会参加において重要な役割と推進力を果たすことを期待しています。専門知識と創造性を活用し、学びと実践のギャップを改善することを奨励し、地域認識と発展を促進し、国際社会との連携を目指します。

第一期（2018-2019年度）の計画は一定の成果を挙げ、第二期（2020-2022年度）も豊富な成果を収めました。第三期（2023-2024年度）の計画では、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に焦点を当て、大学の社会的責任の理念を学校経営に統合し、人間中心のアプローチで地域のニーズに応じ、人文的ケアと技術導入を通じて地域の問題解決に貢献し、社会責任を果たすことを目指します。このようにして、USRの持続可能な推進を目指します。

また、教育部は「大学社会責任推進センター」を設立し、USR計画の全体的な発展を促進するプラットフォームとして機能させています。

3-7 政策に対する評価(1/2)

国家発展委員会が第一期計画の成果を行なった審査結果

- (一) 高等教育発展の青写真と深耕計画の位置づけはまだ確定されておらず、明確化が足りない。
- (二) 「学校特色の開発」政策の指導と資源の配分機能は未発揮のままです。
- (三) 国際学生の受入れと支援に関する体系的な戦略計画はさらに精進が必要です。
- (四) 計画の実行内容は多様であり、全体的な効果はまだ統合されて提示される必要があります。

3-7 二期目に対する評価(1/2)

★精確な訪問評価メカニズム - 目的

一年目終わったごろ、半日の精確な訪問評価メカニズムを通じて、学校の背景分析、具体的な戦略、および深耕計画の目標との関連性を理解し、学校が組織、制度、資源などの支援策をどのように投入しているかを把握します。また、学校の改善提案を提供し、学校が提出する2023-2024年の成果報告および2025-2027年の計画書の参考にします（その際、学校の中長期的な学校運営発展計画も提供してください）。次の二項目を中心に：

★領域を越えた学びと自主学習

- 領域を越えた学び：学校の特色や学生の特性に基づき、複数の専門分野を持つ能力を育成し、社会のニーズに応える人材を育成する。
- 自主学習：学校は特色、リソース、学生の能力を考慮し、学生が自ら学修内容を計画し、教師の指導と学生の評価メカニズムを組み合わせ、社会のニーズに応じた人材を育成する。

★産学連携

学校は特色や教員の研究開発能力、学生の特性に基づき、国内外の政府機関、企業、民間団体、学術研究機関と協力し、知識、技能、リソース、人材育成に関する連携を行い、国家社会および産業の発

3-8 教育の質への保証

教育部が財団法人の高等教育評価センター等に委託してが主催する

1. 大学校務評価：4-7年に一回、今第三サイクルの評価
2. 学科評価：4-7年一回、
3. 教員養成への評価：4-7年一回

3-9 学生への学費補助

- 高校生へ授業料を補助する。
- 私立大学生に毎年3.5万元を補助する。
- 学費ローン (がくひローン)へ返還を緩和する。

112/06/29		現行	2024年2月實施 <small>112學年度 下學期</small>
 大專校院 <small>* 扣抵至學雜費 為零</small>	家庭年所得 70萬以下	公立:減免1萬元/年 私立:減免2.2萬元/年	公立:減免2萬元/年 私立:減免5.5萬元/年(2萬+3.5萬)
	家庭年所得 70-90萬	無減免學費	公立:減免1.5萬元/年 私立:減免5萬元/年(1.5萬+3.5萬)
	家庭年所得 90萬以上	無減免學費	私立:減免3.5萬元/年
高中	免學費	免學費範圍: -高職 -高中家庭年所得148萬以下	免學費範圍: 高中高職學生全面免學費
學貸 精進措施	申貸時	<ol style="list-style-type: none"> 家庭年所得114萬元以下免付利息 家庭年所得114-120萬元利息自付一半 家庭年所得120萬元以上且2名子女就學利息自付 	放寬申貸門檻及利息 <ol style="list-style-type: none"> 家庭年所得120萬元以下:在學期間免付利息 家庭年所得148萬元以下且有2名子女:在學期間免付利息 家庭有3名子女,無家庭年所得限制:在學期間免付利息 未符前述資格,但有2名子女就學:利息自付
	還款時	緩繳本息、只繳息不還本: 可申請8次(8年) 緩繳本息門檻: 每月收入未達4萬元	緩繳本息、只繳息不還本: 可申請12次(12年) 緩繳本息門檻: 每月收入未達5萬元 <small>*每增加養育1名子女,再多 放寬月收入門檻1萬元</small>

3-10 近五年理工系學生の増加(1/3)

◆ 2023学年度に「理工系」學生が最多で、過去五年間で3.6%増加。

大專校院學生數及畢業生數結構

單位：萬人、%

學生數											
學科三分類	112 學年					107 學年					
	總計	博士班	碩士班	學士班	專科	總計	博士班	碩士班	學士班	專科	
人數	109.5	2.9	17.7	81.3	7.7	124.5	2.8	16.8	96.2	8.7	
占比	人文類	18.9	21.3	20.1	19.5	9.6	19.7	22.1	20.6	20.3	11.2
	社會類	34.1	18.7	32.5	35.8	25.9	37.0	18.8	34.2	38.9	28.0
	科技類	46.9	60.0	47.4	44.7	64.6	43.3	59.2	45.2	40.9	60.9

畢業生數											
學科三分類	111 學年					106 學年					
	總計	博士	碩士	學士	副學士	總計	博士	碩士	學士	副學士	
人數	27.5	0.3	5.2	20.5	1.4	30.5	0.3	5.4	23.1	1.6	
占比	人文類	17.3	18.4	13.6	18.9	7.5	17.7	18.8	14.5	19.0	8.9
	社會類	37.1	16.9	33.9	38.7	31.1	38.5	14.5	34.4	40.4	30.7
	科技類	45.6	64.7	52.5	42.4	61.4	43.8	66.8	51.2	40.6	60.4

3-10 デジタルテクノロジー産業支援(2/3)

AI人材の育成に243億台湾ドルを投資

国立大学（9所）

台湾大学、成功大学、清華大学、陽明交通大学、台灣師範大学、台灣科技大学、中央大学、中山大学、國立台北科技大学

私立大学（8所）

淡江大学、東海大学、元智大学、中原大学、輔仁大学、義守大学、實踐大学、南台科技大学。

NVIDIA「人工知能イノベーション研究開発センター計画」



3-10 デジタルテクノロジー産業支援(3/3)

TSMC 半導体教育プログラム - 半導体の才能を育成し、大学の教師が半導体研究を行うよう助成します。

国立大学 (13校)

中山大学、中央大学、中正大学、中興大学、成功大学、清華大学、陽明交通大学、雲林科技大学、臺中教育大学、台北科技大学、台湾大学、台湾科技大学、台湾師範大学

私立大学 (3校)

中原大学、元智大学、逢甲大学

2024年6月にさらに40億注入される予定

捐贈国立台湾大学、国立陽明交通大学、国立清華大学、国立成功大学および国内の厳選された高等学校・女子高等学校に、長期にわたる半導体研究教育と人材育成のために寄付します。



資料來源：

tsmc(年代不詳)。半導體學程。 <https://careers.tsmc.com/education/SearchPrograms>。

戴嘉芬 (2024)。好大的手筆！台積電宣布捐贈40億元用於4所大學及獲選高中培養人才。 <https://reurl.cc/1vAvG9>。

4-1 台湾と日本の高等教育政策の比較(1/2)

	台湾	日本
教育の質の向上	学生: クロスドメイン統合スキル 教師: 革新的な反転教育モデル	学生: 芸術と科学の統合、学習者中心 教師: 全体の教育マネジメントを確立する
社会貢献と地域連携	大学の社会的責任実践計画 (USR)	COC、COC+、COC+R (地域人材育成) プログラムなど
国際化の推進	国際化事務支援制度 (深耕計画)、重点産業分野における華僑、香港、マカオ及び外国人留学生の採用拡大実施計画、留学生の來台・滞在促進実施計画	グローバルトップユニバーシティ構想、大学の国際化強化、大学の世界展開力強化計画、未来を創る若者の留学促進策
大学の公共性を改善する	<ul style="list-style-type: none">就学援助の仕組みを改善する原住民学生リソースセンターを通じて原住民学生のカウンセリングを行う	高等教育における新たな学習支援制度
トップ大学プログラム	全校プラン (深耕計画) (特にない)	世界のトップ大学プログラム 指定国立大学法人

4-1 台湾と日本の国立大学経営の比較(2/2)

	台湾	日本
法人化	X	O
学部か学科を中心に運営	学科を中心に、学部が統括する。	学部 理事会
最高意思決定組織	校務会議 学長 教員評議会	学長 理事会 経営協議会 教育研究評議会
大学の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> 大学自主 教授が中心に運営（教授治校） 	法人機構 自律性が不十分
行政	教育部が行政指導、（人事、予算）を規制	大学が決める権限を持つ
カリキュラム	大学が決める権限を持つ	大学が決める権限を持つ
経費予算	政府予算（約50%以下を交付） 校務資金制度、貯金できる	運営交付金 大学が配分権限を持つ

4-2 台湾高等教育の特色

- ◆法人化にはしていないが、模擬法人化をしている
- ◆政策面での基本原理は自律と管制のバランスー大学自治と教育部の管制
- ◆後期中等教育と大学が複線型でないが、学校を分けて（分岐型）行われる
- ◆18歳の高等教育への進学率は非常に高い
- ◆社会人向けの学歴教育がかなり行われた
- ◆私立学校を中心とした高等教育拡大策

5 台湾の高等教育の課題

- ◆ 高等教育政策にはマクロ計画が欠如している
- ◆ 高等教育学歴の価値が切り下げられ、学生の学力が低い
- ◆ 大学退場への積極的な対応策なし
- ◆ 大学の経費予算はまだ不十分です
- ◆ 国立と私立の資源分配格差が大きい
- ◆ 大学教育の質と国際化が低い
- ◆ 大学評価が十分に機能しない（校務評価や学科評価など）
- ◆ 私立学校に対する積極的な支援政策はない

A decorative graphic in the bottom-left corner consisting of a grid of colored squares. The top-left square is white. Below it is a light blue square. To the right of the light blue square is a medium blue square. Below the white square is a yellow square. Below the yellow square is a medium blue square. Below the medium blue square is a dark blue square. Below the dark blue square is a medium blue square. Below the medium blue square is a dark blue square.

THANK YOU